

桃山南だより

令和3年度前期学校評価版
京都市立桃山南小学校
校長 小野 美奈子

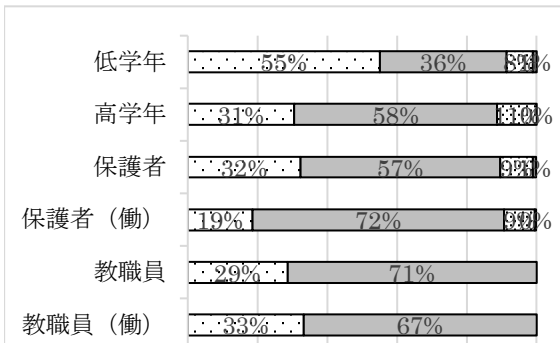
清秋の候、皆様におかれましては、益々ご健勝のことと存じます。

平素は本校教育活動にご理解ご協力をくださり、厚くお礼申し上げます。さて、先日行いました学校評価アンケートの結果についてご報告いたします。「よくできている」「大体できている」と評価をしたものを昨年度の前期・後期分と比較して分析を行いました。お忙しい中、ご協力いただき、ありがとうございました。（働）…働きかけ

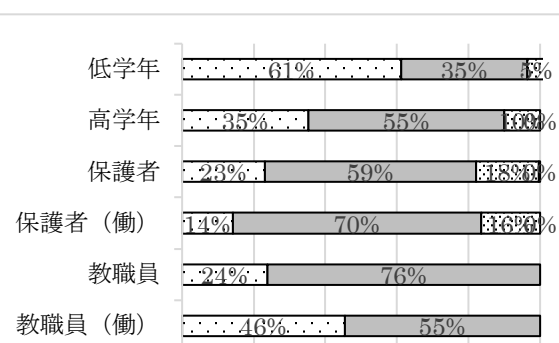
よくできている 大体できている
あまりできていない できていない

【確かな学力】

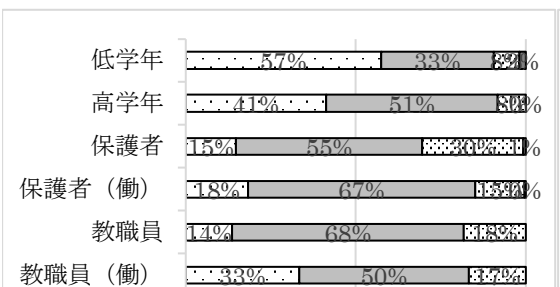
子どもは学習や学校行事などに
自分から進んで取り組んでいる



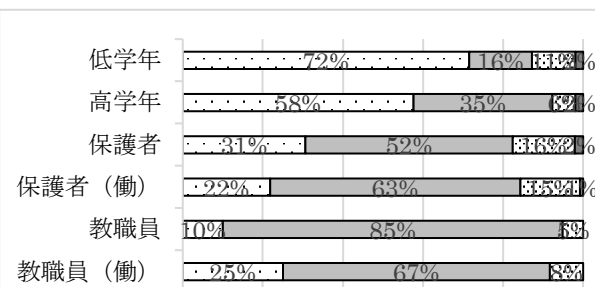
子どもはいろいろなことに目標をもって
最後まであきらめずに取り組んでいる



子どもは人の話を最後まで
聞いている

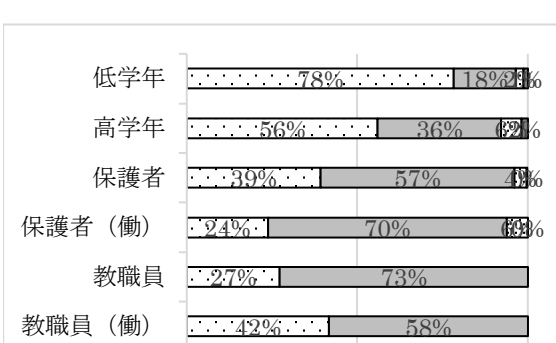


子どもは家庭学習をしっかりしている

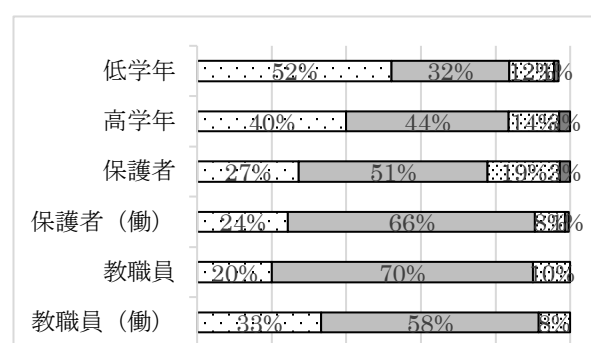


【健やかな体】

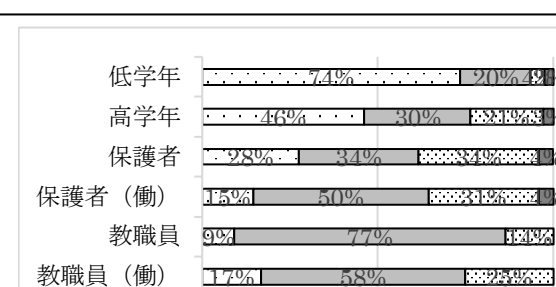
子どもはいつも元気で、
明るいきもちで楽しく過ごしている



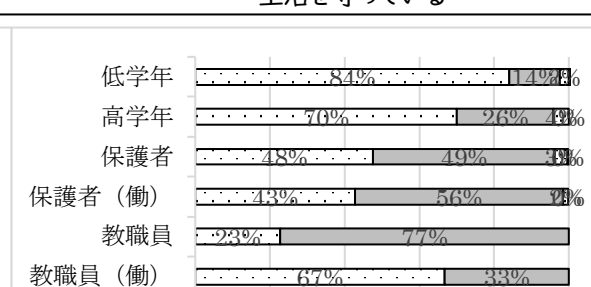
子どもは「早寝、早起き、朝ごはん」や
整理整頓、身の回りの清潔など、
衛生面で規則正しい生活を送っている



子どもはいろいろなスポーツや外遊びなどで
進んで体を動かしている



子どもは新型コロナウイルス感染予防のために、
手洗いやマスク着用、密をさけるなどの
生活を守っている



【確かな学力】について、昨年度の後期からは全4項目とも「よく出来ている」「大体できている」の割合が増えています。このことは、昨年と違い、4月から学校生活がスタートし、学級開きが分散でなく全員で行えたことも要因の一つだと考えます。また、子どもと大人【保護者・教職員】の間で気になる差が、家庭学習です。子どもたちは、「よくできている」と答える割合が高いのに対して、大人は「大体できている」の割合が高くなっています。子どもたちの自己肯定感が高いことは、いいことですが、「もっとやってほしい。」「もっとできる。」と思っている人が多いと考えられます。3年生以上では、自主学習もしているので、今後も自分にとって必要な学習ができるようになってほしいと思います。

【健やかな体】についても、昨年度の後期からは「よくできている」「大体できている」の割合がほとんどの項目で増えています。「新型コロナ感染予防…」については、昨年度から、ほぼ100%の高い割合になっており、感染予防を心掛けた生活ができていますと考えられます。ただ、「いろいろなスポーツや外遊び…」の項目は、昨年度に比べて減っています。コロナ禍で、体を動かすことができなかったり、気持的に外に行けなかったりするのではと考えます。学校では、クラス・学年でのみんな遊びや桃山南んピックに向けてのダンス練習など、体を動かす機会をとりいれています。また、高学年では、クラブ活動や部活動も開始されることにより、少しでも体を動かす機会になればと思います。